

01	Affinity Photoと5つのペルソナ	10
02	ツールの基本操作	12
03	パネルの基本操作	16
04	ファイルを開く	18
05	ファイルの保存と書き出し	20
06	特定部分をスライスして書き出す	22
07	画像の表示領域を操作する	24
08	操作の取り消しと[履歴]パネル	26
09	画像とキャンバスサイズをリサイズする	28
10	ガイドとグリッドを表示する	30
11	ワークスペースを保存する	32
12	ファイルを新規作成する	34

01	Photoペルソナの基本	36
02	画像調整の基本操作	38
03	ヒストグラムの見方	40
04	4つの自動補正機能	41
05	[レベル]を調整する	42
06	[ホワイトバランス]を調整する	43
07	[HSL]を調整する	44
08	[リカラー]を調整する	45
09	[白黒]を調整する	46
10	[明るさ/コントラスト]を調整する	47
11	[ポストライズ]を調整する	48
12	[自然な彩度]を調整する	49

13	[露出]を調整する	50
14	[シャドウ/ハイライト]を調整する	51
15	[しきい値]を調整する	52
16	[カーブ]を調整する	53
17	[グラデーションマップ]を調整する	56
18	[特定色域]を調整する	57
19	[カラーバランス]を調整する	58
20	[反転]する	59
21	[ソフト校正]を利用する	60
22	[LUT]を利用する	61
23	[レンズフィルター]を調整する	62
24	[明暗別色補正]を調整する	63
25	画像を切り抜く	64
26	傾きを補正する	66
27	画像の一部を明るく/暗くする	67
28	ブラシでぼかしやシャープをかける	68
29	色置換ブラシを活用する	69
30	修復ブラシで不要なものを消す	70
31	コピーブラシで不要なものを消す	72

01	選択範囲の基本	74
02	図形で選択する	76
03	フリーハンドで選択する	77
04	ブラシで選択する	80
05	近似範囲を自動で選択する	82
06	色域から選択する	83
07	明暗やカラー範囲から選択する	84
08	クイックマスクモードで選択する	86

09	細かい毛を選択する	88
10	選択範囲を加工する	92
11	選択範囲を保存する／読み込む	94
12	チャンネルを理解する	96

第 4 章

レイヤーの活用

01	レイヤーのしくみと種類	100
02	レイヤーの基本操作	102
03	マスクレイヤーを活用する	106
04	マスクにオブジェクトを使用する	110
05	クリッピングを活用する	111
06	レイヤーグループでまとめる	112
07	不透明度を活用する	113
08	描画モードを活用する	114
09	レイヤーエフェクトを活用する	118
10	塗りつぶしレイヤーを活用する	122
11	パターンレイヤーを活用する	124

第 5 章

色とブラシ

01	カラー選択の基本	130
02	色の表示形式を切り替える	132
03	カラーピッカーで色を取得する	134
04	スウォッチに色を登録する	135
05	特定の範囲を塗りつぶす	138
06	グラデーションを使い分ける	140
07	ペイントブラシの基本	142
08	ブラシをカスタマイズする	144

09	消去ブラシをマスターする	148
10	Photoshop用のブラシを読み込む	150

第 6 章

テキストとカーブ、シェイプ

01	アーティストックテキストを作成する	152
02	フレームテキストを作成する	154
03	テキストの見栄えを調整する	156
04	テキストの段落を調整する	158
05	テキストのスタイルを保存する	160
06	ベクトルコンテンツの基礎知識	162
07	カーブを描画／編集する	164
08	ベクトルシェイプを描画する	166
09	ベクトルシェイプをカーブに変換する	168

第 7 章

フィルターの活用

01	フィルターとライブフィルター	170
02	ガウスぼかしをかける	173
03	アンシャープマスクをかける	174
04	レンズのゆがみを補正する	176
05	ノイズを付加する	177
06	エッジを強調する	178
07	フリッジを除去する	179
08	かすみを除去する	180
09	照明の効果を加える	181

01	現像ペルソナの基本	184
02	[基本] パネルの調整項目	186
03	[レンズ] パネルの調整項目	187
04	[ディテール] パネルの調整項目	188
05	[色調] パネルの調整項目	189
06	調整効果を部分的に適用する	190
07	赤目現象を修復する	191
08	傷やゴミを除去する	192
09	現像時にプロファイルを指定する	193
10	ゆがみペルソナの基本	194
11	ゆがみツールを活用する	196
12	ブラシを調整する	198
13	ゆがみペルソナの操作をライブフィルターで行う	199
14	トーンマッピングペルソナの基本	200

01	HDR 画像を作成する	202
02	深度合成(フォーカス結合)を行う	204
03	画像スタックで合成する	206
04	パノラマ画像を作成する	208
05	360度画像を編集する	210
06	マクロで繰り返し作業を自動化する	212
07	バッチ処理を行う	214
08	無料のストック画像を使う	216
09	キーボードショートカットを活用する	217
10	カラーマネジメントの設定をする	218

07

[HSL]を調整する

▶▶ HSLを調整する

HSLとは、画像の「色相 (Hue)」「彩度 (Saturation)」「輝度 (Lightness)」を変更し、カラーを調整する機能です。特定の色を対象として彩度や輝度 (明るさ) を調整することができるので、例えば、花の色を別の色に置き換えるといった用途に使えます。

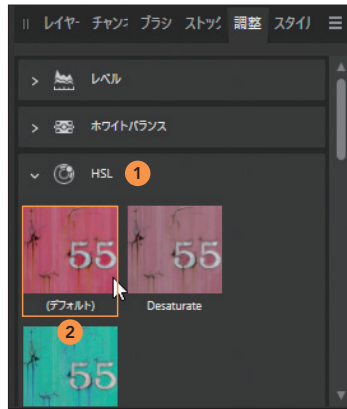
1 [調整] パネル内の [HSL] をクリックし①、[デフォルト] をクリックします②。[HSL] パネルが開きます。

2 調整対象の色を選択します③。[選択] ボタンをクリックして画像上で色を選択することも可能です。

3 [色相のシフト]、[彩度のシフト]、[輝度のシフト] の各スライダーをドラッグし④、意図するカラーになるよう調整します。

MEMO

[HSV] にチェックを入れると調整のしくみが変わり、[彩度のシフト][輝度のシフト] の効果のかけ方が変わります。



08

[リカラー]を調整する

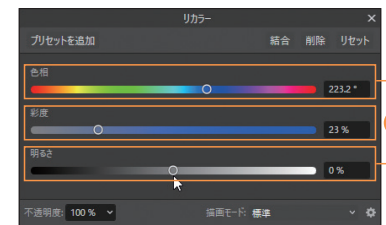
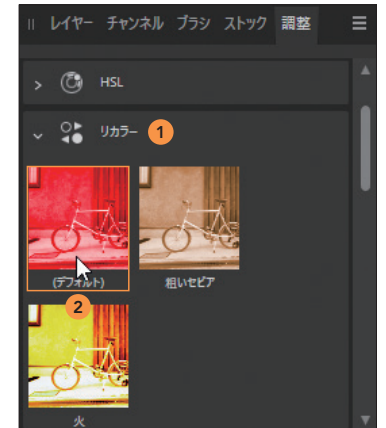
▶▶ リカラーを調整する

リカラーとは、カラー画像から任意の色調で統一したモノクロ画像を作成できる機能です。細かい調整はできませんが、単純な白黒写真だけではなく、各スライダーを調整することでセピア調やブルー、ピンクといったトーンで統一したモノクロ画像を作成することができます。

1 [調整] パネル内の [リカラー] をクリックし①、[デフォルト] をクリックします②。[リカラー] パネルが開きます。

2 [彩度] スライダーをドラッグし③、色の濃さを調整します。彩度が「0%」になると、色情報がなくなり、完全なグレートーンになります。

3 [色相] スライダーと [明るさ] スライダーをドラッグし④、色の種類と明るさを整えます。



クイックマスクモード で選択する

クイックマスクモードで選択する

クイックマスクモードは、**選択／非選択の範囲を可視化する機能**です。半透明の赤で表示された範囲がマスク（非選択）範囲を意味します。**白でペイントすると選択範囲として追加され、黒でペイントするとマスク範囲となり選択範囲から除外されます**。また、グレーでペイントすると、その濃度により、選択範囲の透明度が変化します。ブラシのボケ具合、透明度なども選択範囲として反映されるため、複雑なエッジを持つ被写体や一度作成した選択範囲の微調整に有効です。

- 1 画像を開き、コンテキストツールバーの **クイックマスク** ボタンをクリックし①、クイックマスクモードに切り替えます。

MEMO

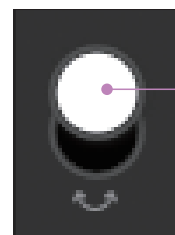
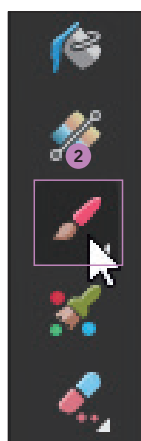
Qキーを押すことでもクイックマスクモードに切り替えられます。

- 2 画面全体が半透明の赤で覆われました。赤い部分は非選択状態ということです。[ツール] パネルの **ペイントブラシ** ツールをクリックします②。

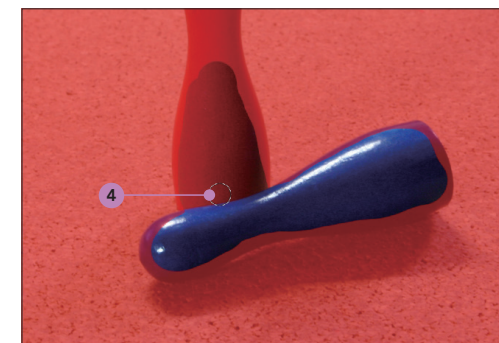
MEMO

ブラシの使い方については、P.142を参照してください。

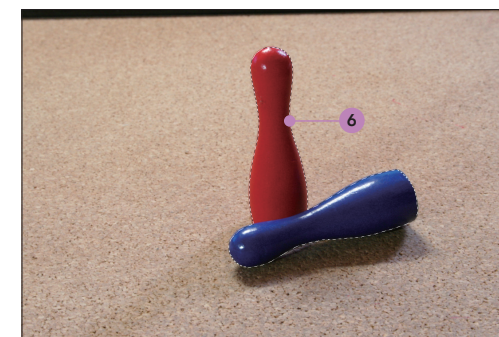
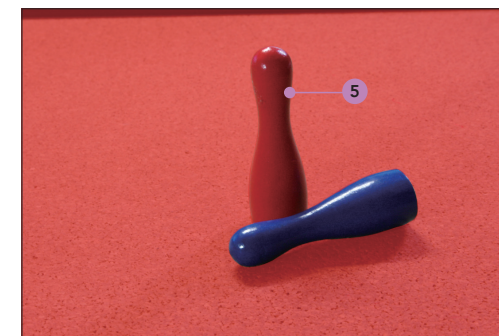
- 3 [ツール] パネルや [カラー] パネルでブラシのストロークカラーを白に設定します③。



- 4 選択範囲の対象としたい部分をドラッグしてマスクを除外していきます④。



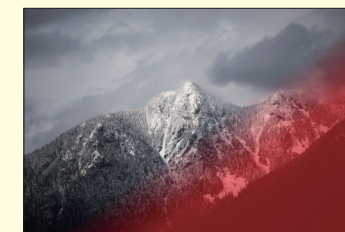
- 5 マスクが完成したら⑤、再度ツールバーの [クイックマスク] ボタンをクリックするか Q キーを押すと、対象が選択範囲になります⑥。



COLUMN

【グラデーション】ツールも使用可能

クイックマスクモードでは[グラデーション]ツールを使うこともできます。クイックマスクモードで[ツール]パネルの[グラデーション]ツールを選択し、ドラッグすると、グラデーションのマスクが作成されます。クイックマスクを解除すると選択範囲になるので、部分的に色調補正を行う場合などに利用できます。



グラデーションでマスクされた画像

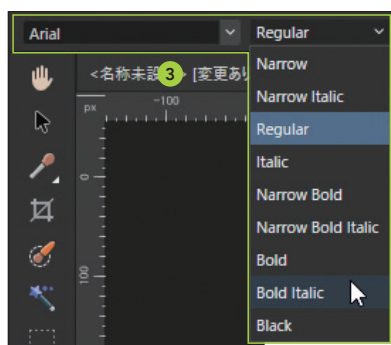
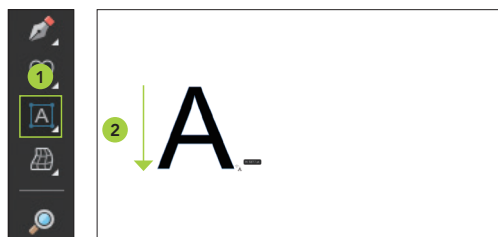
09

レイヤーエフェクトを 活用する

レイヤーエフェクトを活用する

レイヤーエフェクトは、**レイヤーに対してさまざまな効果を与える機能**です。レイヤーエフェクトを活用すれば、見栄えのするロゴを効率的に作成することができるほか、クリッピングした画像に縁取りやドロップシャドウの効果をつけるなど、さまざまな場面で活用することができます。ここではロゴ作成を例にレイヤーエフェクトを解説します。

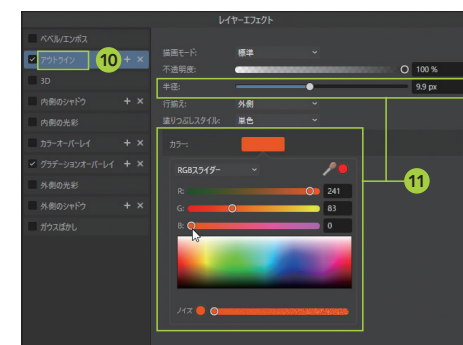
- [アーティストックテキスト] ツールをクリックし①、画像上をドラッグして文字サイズを決定します②。
- ロゴにしたい文字を入力したらすべて選択し、フォントを指定します③。これでテキストの準備ができました④。
- [移動] ツールをクリックし⑤、[レイヤー] パネル下部の [レイヤーエフェクト] ボタンをクリックします⑥。



- [グラデーションオーバーレイ] の文字をクリックします⑦。[グラデーション] のカラースウォッチをクリックして⑧、グラデーションを設定します⑨。

MEMO
エフェクト名をクリックしただけではエフェクトは有効になりませんが、設定値を変更することで有効になります。あるいはエフェクト名の左チェックボックスでオン/オフを切り替えられます。

- [アウトライン] をクリックし⑩、半径やカラーを設定します⑪。
- [外側のシャドウ] をクリックし⑫、半径やオフセット、強度などを設定します⑬。



01

フィルターと
ライブフィルター

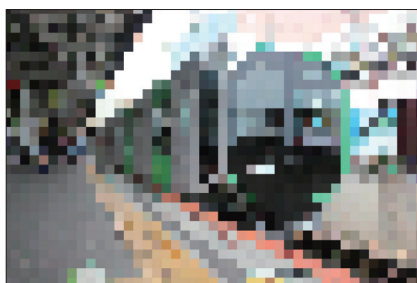
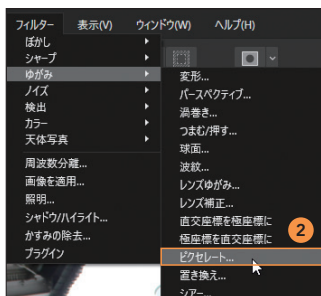
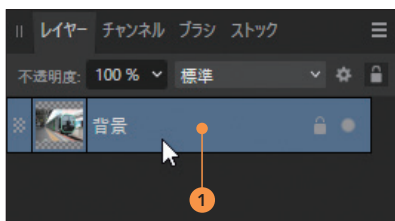
▶ フィルターとライブフィルター

Affinity Photo には、**ピクセルレイヤーに直接効果を与える通常のフィルター**と、**オリジナルのデータに手を加えないライブフィルター**の2種類が用意されています。ライブフィルターは元の画像を破壊せずに効果を与えることができ、適用後であっても効果を取り消したり再調整することができます。



▶ フィルターを適用する

- [レイヤー] パネルで、効果を与えたいレイヤーをクリックします①。
- [フィルター] メニューから目的のフィルターを選択します。ここでは例として [フィルター] メニュー → [ゆがみ] → [ピクセレート] の順にクリックします②。
- 設定パネルが表示されるのでスライダーをドラッグし③、フィルターの適用度を設定します。[適用] ボタンを押して確定します④。



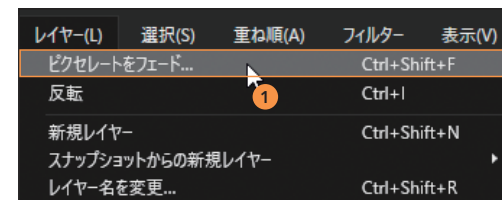
MEMO

[ガウスぼかし] など一部のフィルターでは、スライダーで設定できる範囲を超えて効果を適用することができます。フィルターのパネルが表示されている状態で、画像上を左右にドラッグしてください。

▶ フィルター適用前後をブレンドする

フィルター適用前の画像とフィルター適用後の画像をブレンドすることができます。これは、直前に適用したフィルターに対してのみ使用可能です。

- [レイヤー] パネルでフィルターが適用されたレイヤーを選択し、[レイヤー] メニュー → [フェード] の順にクリックします①。
- [フェード] パネルが表示されるので②、スライダーを左右にドラッグしてブレンド度合いを調整します。フェードが「0%」のときは、フィルターが適用されていない状態になります。



▶ ライブフィルターを適用する

- [レイヤー] パネルから、フィルターを適用するレイヤーをクリックし①、[レイヤー] メニュー → [新規ライブフィルターレイヤー] の順にクリックし、目的のフィルターを選びます。ここでは例として [ハーフトーン] を選択します②。

MEMO

ライブフィルターは[レイヤー]パネルの🔒アイコンからでも追加できます。

